

令和2年5月27日

保護者の皆さま

横浜市教育委員会事務局  
特別支援教育課

## 新型コロナウイルスにおける基礎知識と特別支援学校における感染対策について

保護者の皆様には、本校の教育活動に対するご理解とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。また、一斉臨時休業に際しても、保護者の皆様から多大なるご協力をいただきましたこと、誠にありがとうございます。

6月1日からの学校再開に当たり、新型コロナウイルスにおける基礎知識等について作成いたしました。今後も子どもたちが安心して学校に通うことができるよう努めてまいりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

### 1. 新型コロナウイルスに関する基礎知識

#### ① 新型コロナウイルスとは

コロナウイルスの一種で、感染し発病すると、発熱や咳、肺炎などの症状を引き起こします。参考：横浜市の発生状況（5月26日現在）

市内の陽性患者数は 533 人で、そのうち、357人は既に退院しています。

陽性者のうち、20歳未満は 7人（全体の1.3%）です。

未成年のクラスター（集団感染）は発生していません。

#### ② コロナウイルスの感染経路

ウイルスに汚染されたもの・場所を触った手で顔（目や口等）を触ることによる接触感染、患者の咳やくしゃみなどの飛沫を吸い込むことによる飛沫感染と考えられています。

1m以内の距離でマスクなどの予防対策をせずに15分会話をした場合、濃厚接触になります。（相手も自分もマスクをしていれば、濃厚接触者にはなりません）

#### ③ 効果的な感染予防策

ウイルスを体内に入れないことがポイントなので、以下のことが重要です。

○石鹸・流水で十分な手洗いを行うこと、または十分なアルコール等で手指消毒すること

○マスクを使用し咳や会話で飛沫が飛ばないようにすること、

○不特定多数の人が多く集まる場所や密集した場所、換気が悪い場所を避けること

#### ④ 日常生活上の注意・健康管理のポイント

上記の予防策に加え、次のような健康管理が重要です。

○家族全員、毎日熱を測り、体調の変化がないか確認する

○十分な栄養と休養を取り、抵抗力を上げる

○換気をまめに行う

○体調が良くないときは外出しない

○不特定多数の人がいる人混みを避ける

### 2. 特別支援学校の感染症予防対策（再開に当たって）

#### ① 予防の原則

ウイルスの接触感染・飛沫感染の機会を減らす対策をとります。

② 児童生徒・職員等の健康管理

毎日、健康状態の観察・検温を実施。行動を行う前後の手洗いを徹底します。

③ スクールバス等の対応

乗車前後で換気と車内の消毒を行います。可能な限り座席を離すなどの対応を取ります。

④ 授業中の対策

児童生徒同士の間隔をあけ、可能な限りマスクを着用します。教職員等もマスクを着用し、部屋の換気を定期的に行い、飛沫感染を防止します。

⑤ 給食時の対策

給食前後の手洗いを確実にし、対面を避ける座り方や座席の間隔をあける工夫をします。会話を控えて食べるようにし、食べ終わったらすぐマスクをします。介助の教員もマスクを着用し、手指の清潔保持に努めます。

⑥ 清掃・消毒

通常のコleaningに加え、次亜塩素酸ナトリウムやアルコールで、毎日、多数の人が触る場所（ドアの取っ手等）や、共用する教材、トイレや流しなどの水回りを拭き取り消毒します。

⑦ 陽性者が出た時の対応

陽性者が出た場合、濃厚接触者の範囲が確認されるまでの間、学校の全部または一部を臨時休業とします。保健所（区福祉保健センター）と連携し、感染の危険性を判断し、必要な対応を取ります。